



秋庭 繁 議員

### 新型コロナウイルスと古河市の危機管理について

**問** ①PCR検査と医療体制の強化として医師会の検査車の運用について②不安のある陽性者の自宅待機をなくす入院先確保について③暮らしと雇用、営業を守る支援について、特に商業、工業、農業への支援策について④特別定額給付金一人10万円の追加支給の国・県への要請について⑤学校休校に伴う児童クラブの追加費用の補助、および家庭保育等に協力した保護者への

補助金について⑥学校再開にあたっての感染拡大防止、感染が発生した場合の対策⑦体育館等の3密対策と古河市の危機管理について伺う。

**答（市長）** ④日本全体が感染症対策と社会経済活動の維持の両立に取り組んでおり、国、県に追加支給を求めることは、現時点では回答が困難である。

**答（企画政策部長）** ③国で審議中の第2次補正予算案には、中小、零細事業者を対象に家賃を負担する予算も盛り込まれているため、情報収集していく。

**答（福祉部長）** ⑤家庭保育にご協力いただいた保護者への利用料の減額は行ったが、それ以外の補助は、国や県の動向を注視し、適切に対応したい。

**答（健康推進部長）** ①車を利用するウオークスルー方式を中心に進めている。②安全な療養施設の確保は、市民の安心感を高めるため、県や保健所等の連携を強く図って進めたい。

**答（教育部長）** ⑥臨時休校を実施し、校内の消毒を十分に行った上で、保健所や学校医と相談し、学校内の活動状況などを踏まえ、協議、検討していく。⑦ガイドラインを作成し、安全なスポーツ環境を整えながら、施設の貸し出しに努めたい。



古河市医師会のPCR検査車



小山 高正 議員

### ICT教育について

**問** ①GIGAスクール構想の古河市内での進捗状況②オンラインによる教育環境の今後の見通し③公立学校情報機器整備費補助金の執行時期はいつか伺う。

**答（教育部長）** ①今回の端末整備で本年度中に9,320台となり、1.1人に1台の整備率となる。残り約1,200台は来年度以降に整備していきたい。②端末の整備を進め、児童生徒と教職員が双

方向でつながることができる方法を探り準備を進めていきたい。③今回の補正予算ではGIGAスクール構想の前倒しで全学年対象となったことに合わせ、予算計上している。

### 子育て支援について

**問** 感染者等の子ども一時預かり等事業の設置・運営状況と今後の見通しについて伺う。



**答（福祉部長）** 養育が可能な親族がおらず、子どもだけで自宅での生活が困難な場合は、児童保護施設等において実施される

子育て短期支援事業等の利用や、児童相談所との連携で一時保護での対応を検討していきたい。

### 高齢者支援について

**問** 感染症のパンデミックや災害の発生時に、安否確認や情報伝達の方法として幅広く活用できるスマートフォンアプリケーション・クレバーメディアのシステム導入を求めるがいかがか。

**答（総務部長）** スマートフォンを持っていない方でも、専用の端末を用いることで従来の情報伝達手段を補完し得る可能性を備えたツールである。市全体においてどのように活用できるのか、今後費用対効果も含め、調査研究を進めていきたい。